



66・5・25
22号

1部 20円
25号分 400円(千共)
先 駆 社
東京本社 東京都千代田区
神田駿河台3の2
東京ビル内 (251) 7213
大阪支社 大阪市福島区
洲上3の3 土真ビル内
(458) 0235
京都支社 京都市左京区下
鴨宮崎町128の29
振替 東京 64937
編集発行人 正木 真一

七〇年「安保」阻止の展望の下

小選挙区・国防省・核武装を紛砕せよ

政府・自民党は日韓会談の要
結の強行突破を行って以後、そ
の露骨な権力支配体制の強化に全
力を注いでいる。
国会での「安保論争」及び、中
国核実験を契機としての「安保構
想の発表」は、明らかに、中国の
核保有が核攻撃力の保持を口実に
するところの、日本の核武装化へ
の準備工作である。中国が核攻撃
力を持つと予想される二、三年先を見
越して、日帝は、独自の核力開
発のための準備をイデオロギイ的
側面及び軍事的面、政治的側面
の全面にわたって手を打っている。
国会での「安保論争」及び、中
国核実験を契機としての「安保構
想の発表」は、明らかに、中国の
核保有が核攻撃力の保持を口実に
するところの、日本の核武装化へ
の準備工作である。中国が核攻撃
力を持つと予想される二、三年先を見
越して、日帝は、独自の核力開
発のための準備をイデオロギイ的
側面及び軍事的面、政治的側面
の全面にわたって手を打っている。

第二次共産主義者同盟建設のために

去る五月四・五日の両日わた
り同盟大会がもたらされた。この
大会においてわれわれは同盟の長
期路線(七〇年を射程距離とし
た)の展望を明らかにした。われ
らはこの同盟の政治組織路線に
おいて、強力な第二次共産主義者
同盟建設への再編過程を推し進め
ねばならないと考える。そこでま
ず当面が同盟との組織統一が現
実過程で進んでいる共産主義者
同盟マルクス主義戦線派に対する
建設的批判を展開したいと思う。

日帝動向規 定の一面性

この「日帝動向規
定」は、日帝の政治動向を把握
し、その危険性を明らかにする
ものである。その内容は、日帝の
政治動向を把握し、その危険性を
明らかにするものである。その内容
は、日帝の政治動向を把握し、
その危険性を明らかにするもので
ある。

一面的な日帝の把握 残存する革通派的論理

この「日帝動向規
定」は、日帝の政治動向を把握
し、その危険性を明らかにする
ものである。その内容は、日帝の
政治動向を把握し、その危険性を
明らかにするものである。その内容
は、日帝の政治動向を把握し、
その危険性を明らかにするもので
ある。

マルクス主義戦線派批判

この「日帝動向規
定」は、日帝の政治動向を把握
し、その危険性を明らかにする
ものである。その内容は、日帝の
政治動向を把握し、その危険性を
明らかにするものである。その内容
は、日帝の政治動向を把握し、
その危険性を明らかにするもので
ある。

3000人の憤激 大阪環状線をとめる

全にマドした。四月二十六日朝
スは、強気に闘いぬかれた。
前日、闘争労働者は、森の官車
庫内に集結。全電通をはじめ公労
協労働者も森の官車庫に結集した
ものの、わが闘争が執行部にま
で進出している大阪中電からは三
〇〇名近い組合員が参加した。
そして深夜、支援部隊も車庫内
に入り、列車阻止の強力な体制が
確立された。
だが、公安、機動隊のどつかつ
に屈して退去、支援部隊と闘争組
合員は、分断され、しかも、早朝
幹部は、電車を阻止せずの声明
支援部隊には「一番電車を帰して
下さい」という任務、憤激、不信
が、一挙に爆発し、幹部をナメ、
ヤジの場が局所に出たものの、
だが、中央の指令もあり、闘争は
一番電車をとめないことになり、
支援部隊も、その一番電車で帰宅
させられることになって闘争はつ
つとた。
しかし、生産闘争もおしとど
められ支援闘争も中止せられた
下部組合員は、とうとう森の官車
庫で噴出した。当局と権力に憎し
みをこめた怒りがたぎつてられ
た。切符発売拒否に怒った組合員
は、たちまち自動券売機をうちこ
わした。ホームに入っても特定車
両の多におしつけ車を閉ざせず
一番電車の発車阻止を追求した。
かくて機動隊、公安との激しい
闘争が続き、電車はとうとう
ガラガラはされる。プラカードが
ぶら下がり、電車はついに発車
が、憤激しただが非常コックを
引く、電車は線路上でストップ。
うごかだしても、また、コックが
ひかれる。駅につけば、トビに
あるのである。従ってわれ同盟が
大会案において明らかにした
ごとく、戦後過程の終結における
政治過程に内在する「平和と民主
主義」の問題を、大衆意識の変遷
の問題として、従って戦後の大衆
運動を規定していた理念の問題と
して、かつ指導部と大衆との結合
大衆と大衆との連帯の問題として
さぐり出すことが必要であったの
であり、この意味での戦後過程の
終結の地点に意識的に立つてこ
よって始めて来るべき日本革命と
その反闘争の展望を戦略的に提
起することが可能となったのであ
る。

このように、大衆の自然発生的
闘争に内在する反権力、反国家の
意識を一方においては労働者自己
権力の意識に凝集させつつ、一方
においては現実の政治闘争を契機と
して「反帝」の意識性を明確にし
ることによって始め、労働者階
級に現在における「階級性」を形
成することができているのである。
次号以降においてマルクス主義
戦線派の五回大会報告に対する詳
細な批判を展開するが、その内容
は政治過程の動向、妥協体制論
批判とそれに対するわれわれの戦
後過程における大衆意識論の運動
論の対照、プロレタリア戦線
論批判と過渡的任務に対する批判
④第一次プロレタリア闘争に対する批判
にわたる予定である。

カンパのお願い

4・26を東段に闘った大阪
の全電通の労働者数が前述のよ
うに不当逮捕されています。
救援カンパを先駆社に、

全学連再建のために

②

前号で提起したごとくわれわれの全学連再建の道(Ⅱ)情勢と(Ⅲ)日韓・早稲田闘争(Ⅳ)各派学生運動論批判(Ⅴ)再建されるべき全学連の内容の順で明らかにした。

現在、わが同盟が提起した学生運動の転換論が各潮流の二月全学連再建を語る上で、主要な論争点としてこの論争の根柢に流れている本質的把握は日本資本主義社会の発展を背景として国家体制の転換の内容である。

これは、世界的には第二次世界大戦を終了して東洋アジア、ラテンアメリカに膨大な植民地を形成したアメリカ帝国主義が一九五八年E.C.決定と、西欧における通貨交換性の回復が戦後世界体制の一角を形成し、その結果各国の階級闘争の昂揚を招いた。そして五八年以後の歴史的形成過程が米ソの露骨な対立を軸とする帝國主義諸國間の矛盾を具體化させた。戦後の世界体制は五八年以降のアメリカのドル防衛策にみられる諸現象と現在後進國において激烈に闘われている民族解放の闘いの間に外交政策の根本的改編を招来する姿を見ることができ、Dドル・ポンド体制の危機の深まり

陣地戦と街頭戦の統一を

日帝の再編下における全学連の任務

一〇年へのアムボはこれを媒介としてより具体的にも急進的に形成されつつある。以上の國家権力の肥大化は現在の運動と体制の間に、一方では激しい非妥協的闘争を、一方では中絶の急進的分解と体制化を進行しつつある。労働運動内部における日本的組合主義と経済主義が海外展開と国内反動化、排外主義化の中でその終末をむかいつつある現状が戦後プロレタリアートの闘いの中心である。

この独占帝國主義の強化は、一方における社会排外主義イデオロギーの形成、相まって現在の主要な矛盾を前面に押し出す形を醸成させていると同時に、いかに世界各國の集結を銀行系列とすることで遂行する政策や第三段階防衛計画にみられる対外的な軍事力の強化は、小選挙区制、国防費増等を通じた執行行政権力の肥大化、代議制民主主義を根本から改編する方向として提起されてきている。

それは自衛隊派のヘゲモニーの伸張の中で遂行され、社会排外主義と反動化、侵略という三本の柱が相互に一体となって形成されて自由化への移行にともなう、國際階級闘争への突入という中で構造的な

ささえるものとして存在している。自衛隊イデオロギーの政策を無視し、ベトナム反対の闘いに示される意識構造はかかるものとしてある。

それは安保以降の学生運動の中で、ソ核実験反対闘争を革命的な運動として提起したマルト派の運動が原階級闘争の中心課題として、また世界的情勢の推移と日本関係の軍事面をめぐり、階級闘争の中に組織で進出する無媒介的闘争に、ベトナムと結びつけられ、叫んだことが、現在時点における革命的な学生運動の推進が言葉でかきまわすこと(軍マル派)や、今や情勢の中に極めて右翼的に対峙し、階級闘争と人間解放と反ソタガ奇妙に結合している部分

かかる学生運動における転換の内容は、全国政治闘争の徹底的展開の中で明らかに、下部大衆と指導部との相対的闘争の一層の拡大化をもたせようとする運動全体をささえる意識構造が現在の学生運動の陣地における闘いと街頭における闘いの理念的統一をも志向する萌芽であった。

従って現在学生運動の転換の内容は以上のものであり、把握されねばならない。

戦後平和と民主主義をこえたアカデミズム、小ブルジョア的、チヤの最近戦時地帯は外部から分解され、その内面においては個々分散して形成されている。

以上(Ⅱ)においては資本の動向と現在の学生運動の位置を述べ、次号はそのより具體化した闘いの日韓、早大、横國大、中大等の闘いの結核を述べてこの問題意識をさらに鮮明にした。

以上(Ⅱ)においては資本の動向と現在の学生運動の位置を述べ、次号はそのより具體化した闘いの日韓、早大、横國大、中大等の闘いの結核を述べてこの問題意識をさらに鮮明にした。

学生運動も日本階級闘争の転換の中に必然的に最も社会的反応の即応性を有する実体として、より一層の飛躍をも同時に迫られてくるのである。

そして全学連はそれに強固に耐えるものとして再建されねばならぬ。安保闘争の時に提起された学生運動の「先鋭性」もそれがすでに分析から明らかな過去のものである以上、陣地における徹底した闘いをささえるものと、街頭における闘いの共通理念を適した社会的二重権力状況の形成に向けてのより拡大された、より意識的なものである。

以上(Ⅱ)においては資本の動向と現在の学生運動の位置を述べ、次号はそのより具體化した闘いの日韓、早大、横國大、中大等の闘いの結核を述べてこの問題意識をさらに鮮明にした。

共産主義者同盟
統一委員会学生
対策部

戦後憲法体制の中にあつて、われを動かして来た意識は今や、労働者人民の苦闘の屍の上にあぐらをかく支配階級自身の政策から明らかに露骨にみられる。従って

プロレタリア通信

四・二六と国鉄労働者

日和見主義を下から粉砕

木村重雄

二十五日夜、××電車区に集った労働者約二千名は、二十七日午後三時から空気がいいので熱気をおこして、機動隊に守られて乗務員が車庫に入ろうとする。われわれとぶつかつた。一瞬で機動隊に入る可能性があった。機動隊はあわててボス交渉を始めた。

機動隊の流れに「I型に乗り込めば電車が止まらなくなる」という電報が流れてきた。機動隊が止まらなくなる。機動隊が止まらなくなる。機動隊が止まらなくなる。

「われらの対立」発刊さる

先駆シリーズ第二号、われわれの対立、共産主義者同盟と共産党が発表された。一部は八〇〇で出版され、文部省へむけて激しい抗議行動となって展開された。この統一行動は、五月二十七日に受けつがれ、6・9全学連ストへと盛り上がるという。

同日「地方公営企業法粉砕」の報告決定集(一部一〇〇円、三〇〇円)に別刷りが予定。3号は「労働運動の入門」でこれも近日中に発表される。「先駆シリーズ」を革命の武器として活用しよう。

労働者三千五百

都学連千名が決定

五月八日、東京都学連主催の大政方針、教免法改悪反対闘争は、清水谷公園に、ストライキを起すことが横國大二〇〇名、明大二〇〇名の動員を中心に、計

6・9ゼネストで

教免法改悪を粉砕せよ

国会の会期延長四〇日が本決りして、今国会において教免法上程が、ほぼ確実視されるに至っている。教免法改悪反対、大政方針阻止の闘いは東京におけるわれわれの闘いの立ち遅れ(四月二十八日、五月一日千名)が決定的な

問題としてある。また早稲田大学において闘われている二〇〇名に、なんとなんとするストライキ闘争は、大政方針阻止をきつかけに右派の頭領が顕著であり、二三日全学連の頭領を頂点として大きく情勢の転換を迎えようとしている。

早稲田学連発表会は、二五〇名の動員を以て二〇日闘われたにもかかわらず、未だ決定的なモノにはなっていない。

文部省の学連に抵抗する闘いは、本格的に大きな火となつてもおかしくない。

「われらの対立」発刊さる

先駆シリーズ第二号、われわれの対立、共産主義者同盟と共産党が発表された。一部は八〇〇で出版され、文部省へむけて激しい抗議行動となって展開された。この統一行動は、五月二十七日に受けつがれ、6・9全学連ストへと盛り上がるという。

同日「地方公営企業法粉砕」の報告決定集(一部一〇〇円、三〇〇円)に別刷りが予定。3号は「労働運動の入門」でこれも近日中に発表される。「先駆シリーズ」を革命の武器として活用しよう。

投稿規定

プロレタリア通信への投稿を歓迎します。枚数三枚以内(四〇〇文字)。内容は機動隊で実際に階級闘争を闘う中で起つたこと。方針・情勢・結核のいかなる問題でも結構です。現場で闘っている労働者諸君ペンをと。

先駆編集部プロレタリア通信係